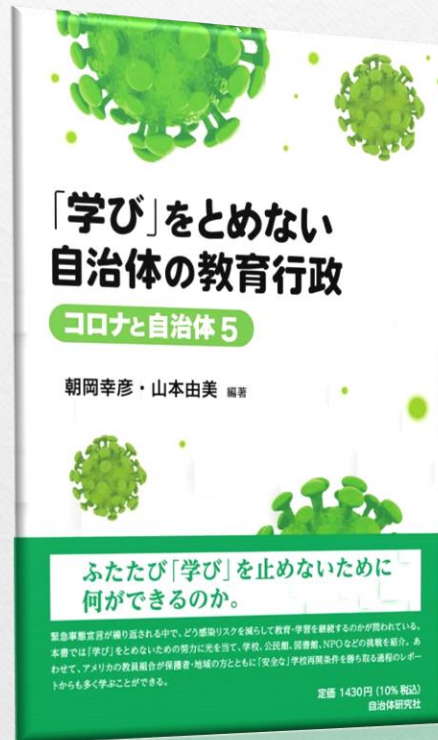


「学び」をとめない自治体の 教育行政

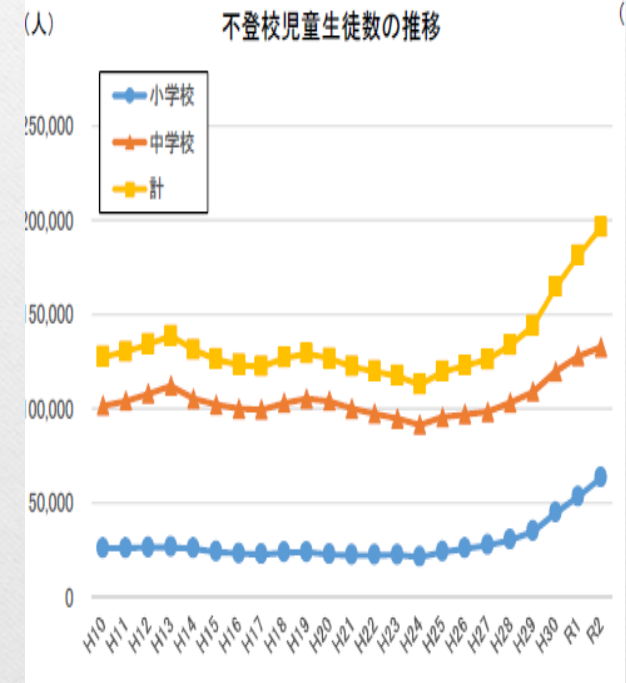
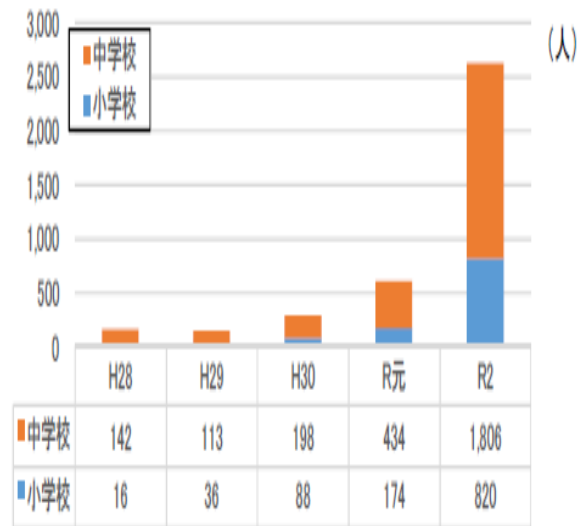
コロナと自治体5



山本由美(和光大学)

コロナ禍、日本の学校では.. 法的根拠のない一斉休校、GIGAス クール前倒し、準備のないリモート授 業による現場の混乱

自宅におけるICT等を活用した学習活動を
指導要録上出席扱いとした児童生徒数



アメリカ学校再開全体動向

学校再開 (School Reopening) の多様なパターン

- トランプが安全面での十分な条件整備無しで秋の新学期からの学校再開を宣言(7. 8ツイート)
- ➡多くの教員組合、保護者団体、市民らが反対運動を行った結果、都市ごとに様々な学校再開に
 - ① 対面学習 (in person class) 38%
 - ② ハイブリッド(対面とリモートの混合、
様々なパターンあり) 17%
 - ③ リモート学習 43%

コミュニティの貧困家庭に食料や 必要物資を配布する教師たち



教員組合教師たちが、安全な学校再開を求めて カーキャラバン

➡数時間後に市長は全リモート授業に変更



2021.1～2.までのシカゴ学校再開闘争 学校再開に「平等性」、「安全性」、「信頼性」

当初、市長・教育長が対面授業を含むハイブリッド授業を宣言

- ➡ 2020.1.12 障がい児クラスとプレキンダー再開
- その教職員(全2万6千人のうち6千人)は準備で1.4から学校に戻るよう通告された。
- ➡ 拒否した147名が、1.11にグーグルクラスルームを遮断され
- 給与支払い凍結の処分を受ける。

抗議のために屋外でオンライン授業



支持する親たち、住民も教師を支援



安全な学校に戻りたい 安全性が第1、学校再開を遅らせて



授業開始前に全員ワクチン 毎週、教師・生徒PCR検査

ワクチン

対面授業に戻る前に
全教職員に
ワクチン接種の機会
を提供

計画なし

- ①CPS雇用者ワクチンプログラム
少なくとも週1,500人接種
- ②プロジェクトCP,CPSワクチンパートナープログラム
- ③ワクチン優先接種者リスト
感染可能性が高い地域で勤務、居住
- ④プレキンダー、障がい級、家族事情有
少なくとも週2,000人接種

PCR検査

基準検査、毎週全教職員に検査
地域の感染率が高い40校の生徒に検査

計画なし

完全率が高い134校で毎週100%のPCR検査実施、その他の地域では毎週50%
対面授業復帰前に全教師、全生徒に検査提供

リモート授業、安全委員会

リモート学習改善	生徒の画面視聴時間を1時間減らし、課外学習を1時間増やす。 家庭に追加的な技術支援	計画なし	CPSはリモート学習のための機材を制限なく提供する。 ヘッドフォン、デバイス、ビジョンスクリーンを含む。
PPE(感染防御)	N-95マスク、手袋、防御服、特別な仕事のために求められる、その他の備品を含む。 「適切なPPE」	学校看護師と聴覚機能訓練師だけに完全なPPE	N-95マスク、手袋、防御服、特別な仕事のために求められる、その他の備品を含む。 「適切なPPE」
安全委員会	学校及び学区の安全委員会が健康・安全計画を施行する権限を与えられる。困難や繰り返される違反のため学校復帰から全リモートを命ずる権限を含む。	計画なし	学校及び学区の安全委員会が健康・安全計画を施行する権限を与えられる。違反は可能な限り速やかに24時間以内に修正されなければならない。

2022. 1、再びコロナ猛威

➡学校休校、生徒のPCRテストキットが送られてきた。基準が有効に



お知らせ 2022, 12, 25・26 全国教育文化会館・オンライン併用

教育全国交流集会・全体会シンポジウム コロナ禍の分断を越える参加と共同をーアメリカ の教員組合運動に学ぶー

- 講演 バーバラ・マデローニさん(レイバーノーツのメンバー)
- 鈴木大裕さん(教育研究者・土佐町議員)
- シンポジスト 笹本育子さん(全日本教職員組合)
- 佐久間亜紀さん(慶應義塾大学教授)
- 「日本における教員不足や労働の実態とその背景」
- [Taro-31回交流集会チラシ・11月18日～ \(min-ken.org\)](https://min-ken.org)